

産科セミオープンシステムを ご利用ください

近年、全国的な産婦人科医師数の減少などに伴い、分娩施設が減少しています。このため、近くに出産できる施設が無い地域が増えることや、限られた分娩施設に妊婦さんが集中することで医師の負担増加などが懸念されており、地域全体で出産をサポートする体制の整備が重要な課題となっています。

そこで、山形県では、診療所等と総合病院の役割分担と連携を進めることで、妊婦さんの利便性及び安心感の向上と医師の負担軽減を図る仕組みである「産科セミオープンシステム」を平成31年1月(2019年1月)から、村山地域で始めました。

産科セミオープンシステムとは・・・



対象となる方

総合病院で出産したいが

○「妊婦健診はできるだけ職場や自宅の近くがいい(通院の負担を減らしたい)」

○「妊婦健診の待ち時間を短縮したい」

○「平日は働いているので、妊婦健診は土曜日に受診したい」

などの御希望をお持ちの方

■33週頃までは、お近くの診療所等で妊婦健診



- 自宅や職場から近い
- 待ち時間が比較的短い
- 土曜日に受診できることが多い。



共通診療ノートで施設間での連携を強化

■34週～産後1か月は、出産を希望する総合病院



- 20週、30週は胎児スクリーニング等のため、出産予定の総合病院を受診
- 34週以前でも、夜間・休日などの緊急時は出産予定の総合病院が対応

(注)総合病院以外での出産を妨げるものではありません。

◆このシステムを利用するには、システムに参加している下記医療機関で、「共通診療ノート」を受け取ってください。詳しくは、各医療機関に御相談ください。

【参加医療機関】(市町村別・五十音順) ※2019.11月時点

■セミオープンシステムにおける分娩施設

山形県立中央病院、山形済生病院、山形市立病院済生館、山形大学医学部附属病院(山形市)

■妊婦健診施設

あかねヶ丘高橋レディースクリニック、大沼産婦人科医院、さとこ女性クリニック、セントラルクリニック、林内科・レディースクリニック、真理子レディースクリニック、レディースクリニック高山(山形市)、原田医院(上山市)、北村山公立病院(東根市)

■妊婦健診への協力施設

※以下の施設では分娩を取り扱っていますが、セミオープンシステム利用者の身近な健診施設としてご利用いただくことができます。

川越医院、羽根田産婦人科クリニック(山形市)、国井クリニック、すまいるレディースクリニック(寒河江市)、天童市民病院(天童市)、菅クリニック(東根市)

